

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成16年8月12日(2004.8.12)

【公開番号】特開2002-41081(P2002-41081A)

【公開日】平成14年2月8日(2002.2.8)

【出願番号】特願2000-228916(P2000-228916)

【国際特許分類第7版】

G 10 L 15/18

G 06 F 3/16

G 10 L 15/06

G 10 L 15/00

G 10 L 15/28

【F I】

G 10 L 3/00 5 3 7 G

G 06 F 3/16 3 2 0 H

G 10 L 3/00 5 2 1 C

G 10 L 3/00 5 5 1 P

G 10 L 3/00 5 5 1 G

【手続補正書】

【提出日】平成15年7月28日(2003.7.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

入力された文字列情報を解析して構成単語に分割し、1つ以上の分割候補を出力する解析手段と、

上記分割された各構成単語に読みを付与し、1つ以上の読み候補を出力する読み付与手段と、

上記解析手段によって得られた分割候補および上記読み付与手段によって得られた読み候補に基づいて、読みが付与された1つの単語または連接単語で成る1つの発声単位または単語の組み合わせが異なる複数の発声単位を認識語彙として生成する語彙作成手段と、上記生成された各認識語彙を音声認識用辞書として記憶する語彙記憶手段を備えたことを特徴とする音声認識用辞書作成装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項7】

入力された文字列情報を解析して構成単語に分割し、1つ以上の分割候補を出力するステップと、

上記分割された各構成単語に読みを付与し、1つ以上の読み候補を出力するステップと、上記単語分割の結果得られた分割候補および上記読み付与の結果得られた読み候補に基づいて、読みが付与された1つの単語または連接単語で成る1つの発声単位または単語の組み合わせが異なる複数の発声単位を認識語彙として生成するステップと、

上記生成された各認識語彙を音声認識用辞書として記憶するステップを備えたことを特徴

とする音声認識用辞書作成方法。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するため、第1の発明の音声認識用辞書作成装置は、入力された文字列情報を解析して構成単語に分割し、1つ以上の分割候補を出力する解析手段と、上記分割された各構成単語に読みを付与し、1つ以上の読み候補を出力する読み付与手段と、上記解析手段によって得られた分割候補および上記読み付与手段によって得られた読み候補に基づいて、読みが付与された1つの単語または連接単語で成る1つの発声単位または単語の組み合わせが異なる複数の発声単位を認識語彙として生成する語彙作成手段と、上記生成された各認識語彙を音声認識用辞書として記憶する語彙記憶手段を備えたことを特徴としている。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

上記構成によれば、一つの文字列情報をから得られた1つ以上の分割候補および1つ以上の読み候補に基づいて、語彙作成手段によって、読みが付与された1つ又は複数の発声単位が生成される。したがって、こうして生成された発声単位を認識語彙として登録することによって、与えられた文字列情報をから、発声の可能性がある発声単位を認識語彙とする音声認識用辞書が生成される。すなわち、利用者が、予め設定された文字列中のどの部分文字列を発声しても正しく認識できる音声認識装置を実現可能な音声認識用辞書が作成されるのである。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

また、第2の発明の音声認識用辞書作成方法は、入力された文字列情報を解析して構成単語に分割し、1つ以上の分割候補を出力するステップと、上記分割された各構成単語に読みを付与し、1つ以上の読み候補を出力するステップと、上記単語分割の結果得られた分割候補および上記読み付与の結果得られた読み候補に基づいて、読みが付与された1つの単語または連接単語で成る1つの発声単位または単語の組み合わせが異なる複数の発声単位を認識語彙として生成するステップと、上記生成された各認識語彙を音声認識用辞書として記憶するステップを備えたことを特徴としている。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0170

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0170】

【発明の効果】

以上より明らかのように、第1の発明の音声認識用辞書作成装置は、一つの文字列情報を

ら解析手段によって得られた1つ以上の分割候補および読み付与手段によって得られた1つ以上の読み候補に基づいて、語彙作成手段によって、読みが付与された1つまたは複数の発声単位を生成し、生成された発声単位を認識語彙として語彙記憶手段によって登録するので、与えられた文字列情報から、発声の可能性がある発声単位を認識語彙とする音声認識用辞書を生成できる。したがって、利用者が、予め設定された文字列中のどの部分文字列を発声しても正しく認識するための音声認識用辞書を、低コストで作成することができる。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0176

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0176】

また、第2の発明の音声認識用辞書作成方法は、入力された文字列情報を解析して構成単語に分割し、1つ以上の分割候補を出力するステップと、上記分割された各構成単語に読みを付与して1つ以上の読み候補を出力するステップと、上記分割候補および読み候補に基づいて、読みが付与された1つまたは複数の発声単位を認識語彙として生成するステップと、上記生成された各認識語彙を音声認識用辞書として記憶するステップを備えたので、上記第1の発明の場合と同様に、与えられた文字列情報から、発声の可能性がある発声単位を認識語彙とする音声認識用辞書を生成できる。したがって、予め設定された文字列中のどの部分文字列を発声しても正しく認識するための音声認識用辞書を作成することができる。